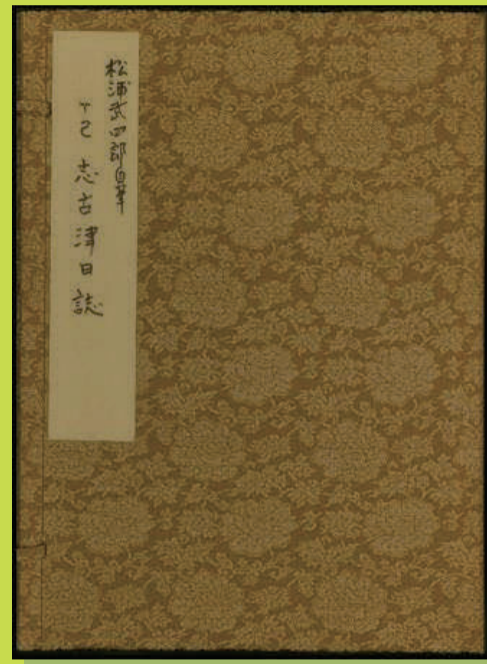
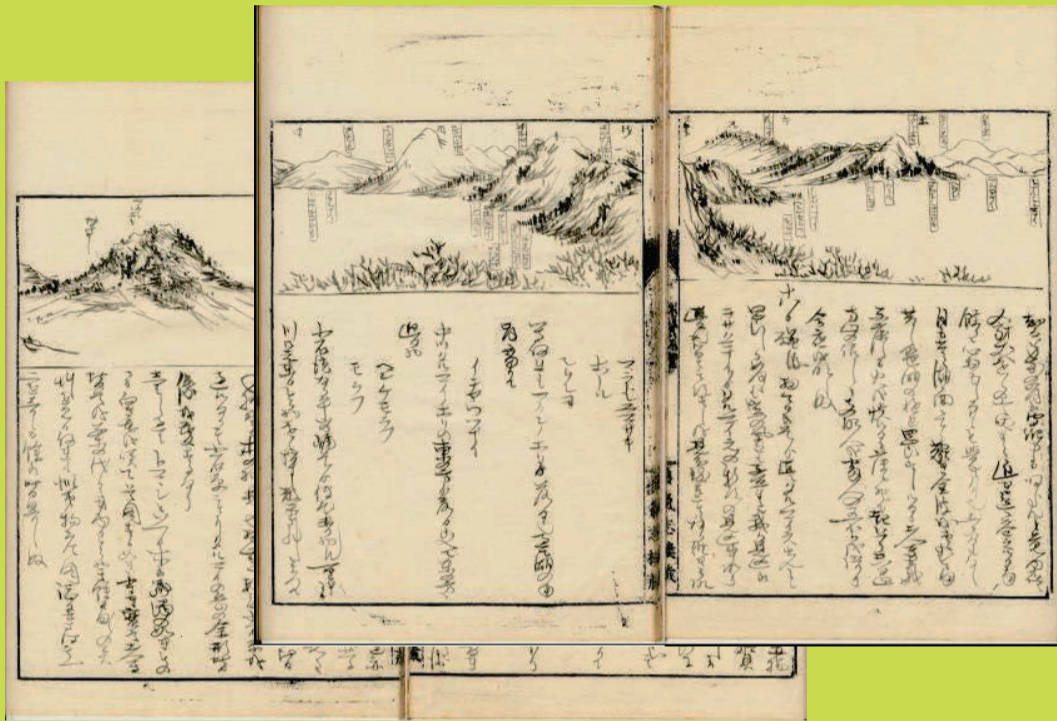


★ 北海学園大学人文学会 第5回大会

# 松浦武四郎の

# 光と影



北駕文庫『丁巳志古津日誌』松浦武四郎自筆

北海学園大学 7号館 D30 番教室

2017年11月4日〔土〕 14:00-17:00

参加費無料・予約不要

北海道の「名付け親」で江戸時代の探検家として名高い松浦武四郎が生誕してから来年は、ちょうど200周年にあたります。本学が誇る北駕文庫内にある武四郎史料等にもとづき、彼を取り巻く多様な人びととの交流にフォーカスすることで、より立体的な武四郎像が生まれませんか考えてみたいと思います。

[基調講演] 三浦 泰之 北海道博物館学芸主幹

「松浦武四郎研究の現状と課題 一新たなる武四郎像の構築に向けて」

[司会] 手塚 薫 人文学部教授

[コメンテーター]

徳永 良次 人文学部教授 「北駕文庫の蔵書と歴史」

松本 あづさ 藤女子大学准教授 「幕末期に松浦武四郎が入手・発信した情報について」

霜村 紀子 東京国立博物館付主任研究員(国立アイヌ民族博物館設立準備室) 「絵に見る武四郎の交流」

主催:北海学園大学人文学会・北海学園大学人文学部・北海学園大学大学院文学研究科

お問い合わせ先:佐藤貴史 人文学部准教授 E-mail:sato\_taka@hgu.jp